

獨協医学会

会長 大森 健一 (獨協医科大学学長)

運営委員会委員

江口 光興*	小端 哲二**	有阪 治	石光 俊彦	犬飼 敏彦
上田 善彦	大類 方巳	岡 敦子	小原 喜隆	勝瀬 武
北島 敏光	篠田 元扶	白瀧 博通	菅谷 仁	千種 雄一
中川 哲男	平田 幸一	本田 幹彦	藤原 利男	三好新一郎

*委員長 **副委員長

Dokkyo Journal of Medical Sciences 編集委員

平田 幸一*	白瀧 博通**	有阪 治	石光 俊彦
犬飼 敏彦	岡 敦子	北島 敏光	菅谷 仁
千種 雄一	中川 哲男	藤原 利男	三好新一郎

*委員長 **副委員長

編集事務員
鯉沼 行子

編集後記

ここに、DOKKYO JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES・獨協医学会雑誌、30巻第3号をお届けいたします。本誌は質の高い英文原著2編のほか、昨年より始まった特集を掲載した魅力ある内容であると自負しています。

本特集は今の健康ブームにあって花形ともいえる「生活習慣病」につき循環器内科の石光俊彦先生に企画していただきました。

先生方をご存知のとおり、かつては糖尿病や心臓病、脳卒中、がんなどの病気は、「成人病」と呼ばれ、加齢とともに発症・進行すると考えられていました。ところが、これらの病気が発症するまでには、食生活や喫煙、飲酒など、個人の生活習慣の因子が深く関わっていることが明らかになったのです。そこで、平成8年12月、当時の厚生省「公衆衛生審議会」が成人病にかかわって、生活習慣に着目した生活習慣病という概念を新たに導入しました。食生活や運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣によって引き起こされる病気を「生活習慣病」と呼びます。最も重要な点は親から受け継い

だ遺伝などでなりやすい人もいますが、生活習慣を見直すことによって予防できる部分も大きいということで、案外お薬による予防法より、効果があることも一部知られるようになってきています。たとえば、脳血栓の再発を防ぐには抗血小板薬という薬剤が使用されますが、これを使用するより、本特集にあるような厳格な生活習慣は正による高血圧・糖尿病・肥満あるいは高脂血症の治療をしっかりとる方が効果が優れているというようなこともわかってきているのです。

本特集の執筆者は本学でその道の専門化家として研究されている先生方に執筆していただきました。日頃臓器別診療などについて、横の繋がりに乏しく診療しているようにみられる先生方も、このような観点からは非常に強い関連があることを改めて認識しました。この特集が患者様への教育のみならず、最近生活習慣病が気になられてきた先生がご自身にもお役に立つものではないかと自負しておりますがいかがでしょうか。

ご意見お待ちしております。

(平田幸一)

2003年10月20日印刷

第30巻 第3号

2003年10月25日発行

編集発行人

獨協医学会

大森 健一

発行所

獨協医学会

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
獨協医科大学

Tel (0282) 86-1111 (内線2009)

製作

教文堂

〒162-0804 東京都新宿区中里町27

Tel (03) 3260-6136